



さいと

市議会だより

第125号

令和8年8月1日発行



総務委員会（6月定例会時：付託案件審査）

左から：橋口登志郎委員、黒木和利副委員長、壺岐秀光委員長、濱砂磐委員、幸森寛之委員

●6月定例会の概要●

令和8年第4回定例会は、6月11日に招集され、7月1日までの会期で市長提出議案27件、陳情1件について審議を行いました。採決の結果、市長提出議案についてはいずれも原案可決（うち18件を同意）となり、陳情1件については継続審査となりました。

主な掲載内容

- ◎一般質問・・・P2～5
- ◎議案審議結果・・・P6
- ◎委員会審査概要・・・P7
- ◎陳情審査結果・・・P8
- ◎永年勤続表彰・・・P8
- ◎議会報編集後記・・・P8



ホームページ
はこちらから↓



西都市議会

検索

市政の方向性、災害時の情報共有、農業振興と支援について

みなと会 濱砂 紳一郎



動画はこちらから↓



〔三〕東米良地域へのSS設置について、市長の見解を伺う。

〔答〕東米良地域の皆様の熱意を尊重しながら、様々な課題について一緒に検討、検証していく。

〔問②〕災害時における情報共有体制について、市の公式LINEが有効的に使われているが、登録者数を増やす為の取り組みを伺う。また防災メールの登録者数を増やす為の取り組みについても伺いたい。

〔答〕広報誌やホームページ、各種イベントなどを通じた周知を行っている。また、防災メールについてはホームページでの案内をはじめ、防災講話で呼びかけている。

〔問③〕西都市の農業振興と産業支援について

〔イ〕農業資材価格高騰対策として園芸や果樹などの農業者が国や県の支援策制度をどの程度活用しているか伺う。

〔答〕施設園芸等セーフティネット構築事業をJAと連携して約370戸の受付をしている。

〔ロ〕農業の担い手確保について親元就農等支援事業を拡充されたとのことだが、内容と実績について伺う。

〔答〕令和7年度から補助額の上限を100万円、補助率を3分の1以内に変更。活用実績は令和7年度は、4件となる。

政友会 濱砂 磐



動画はこちらから↓



〔問①〕第五次西都市総合計画の立地適正化計画の意義について伺う。

〔答〕本市は、将来的に人口減少・少子高齢化が予想され、インフラ維持などの行政コスト上昇に伴う行政サービス低下が懸念される。そこで、持続可能な都市を目指すため策定。

〔問②〕中学校再編で廃校になった跡地や施設の利活用について伺う。

〔答〕公有財産利活用検討委員会や旧校区毎に役員会を開催し今年度中に決定したい。備品などは、市の関係機関を優先し、自治会等へ譲渡し有効活用を予定している。

〔問③〕未・低利用地について、国県の施策には放棄地化対策として利活用を図る多様な支援事業が有る。多面的機能発揮促進事業などは、耕作条件不利地に有効と思う。周知や支援について伺う。

〔答〕事業導入に、申請・計画・実績書作成など事務支援は、活動組織に有効である。今後、各関係組織と課題共有し検討したい。

〔問④〕地籍調査・境界明確化について

西都市総合計画について

て意義と進捗状況を伺う。

〔答〕現地立会困難な山間部は、航空レーザーを活用し促進しているが、完了までに相当な期間を要する。

〔問⑤〕森林環境譲与税について伺う。

〔答〕森林の有する公益的機能は、地球温暖化防止・災害防止・水源涵養など国土や国民の生命財産を守る機能がある。そこで、森林整備等に必要な地方財源の安定確保を目的とする譲与税を活用し、境界明確化事業、森林林業振興として作業従事者支援や林業事業体等の支援として育成及び確保に活用している。

〔問⑥〕一ツ瀬ダム発電所の電源立地地域対策交付金について伺う。

〔答〕設置に係るある地元の理解促進を目的に、公共用施設・福祉対策・地域活性化などが対象となる。

〔問⑦〕調殿道路改良工事後の安全対策について伺う。

〔答〕通行量増加に伴う安全対策を県警本部と交差点協議を経て、減速させる形状・視線誘導標など視覚的な警戒喚起を行う。

〔問⑧〕西都中学校について伺う。

〔答〕再編調査検討委員会の検討課題は、ほぼ達成できたが、今後も学校と地域や中高連携を発展させた

市議会議員選挙、公共施設の今後、農業振興対策について

光翔会 村上 修乗



動画はこちらから↓



問① 今回の市議会選挙の投票率で前回は58・94%、今回は54・56%と約4%落としての過去最低であった。今後の投票率の改善に、どのように取り組むのか伺う。

答 全国的な傾向として若年層の投票率が低い状況にある中で投票率の向上は容易ではない。一方、この状況で今回の選挙を含め期日前投票の投票率については上昇傾向にあることから期日前投票は有権者の生活スタイルに合わせた投票機会として、その重要性が高まっていると認識している。委員会としては有権者が投票しやすい環境づくりを推進する考えである。

問② 電子投票の導入について、どのように検討されているのか伺う。

答 本市における電子投票の導入については導入自治体における電子投票の効果はまだ十分に測られていない状況にあること、そして電子投票システムの導入には相応の初期投資が必要であり、その後の運用費用を含むと現在の選挙執行経費よりも

増大する恐れがあるため、今のところ検討段階には入っていない。

問③ 今後の道路の維持管理について、どのように進めるのか市長の見解を伺いたい。

答 事業導入に、申請・計画・実績書作成など事務支援は、活動組織に有効である。今後、各関係組織と課題共有し検討したい。道路施設の老朽化、破損は歩行者や車両の安全な通行を著しく脅かすものであり放置することは許されない重大な課題であると認識している。今後は舗装や構造物の寿命を延ばす「予防安全型」への完全なシフトを進め計画的な長寿命化を図ることでトータルコストを縮減し限られた財源の中で道路網の安全確保に努めてまいる。

問④ 令和8年1月からの記録的少雨による農業用水不足に対して今後の対策について伺う。

答 今後について引き続き三財川利水調整協議会など関係機関との連携によるダムの放流量の調整、土地改良区や水利組合が水中ポンプを設置した際のリース料及び燃料費の補助など国、県の渇水対策を活用しながら農業の安定的な経営に向けて農業用水の確保に取り組んでまいる。

F35Bの騒音問題・財源対策・妊産婦への支援について

すみの会 森 祐子



動画はこちらから↓



問① F35Bの騒音問題について今後の配備計画と住宅防音工事の計画については。

答 R8に4機、R10に7機、R11に3機、R12に3機、計42機。住宅防音工事の計画は。

答 R9までに騒音調査、順調にいかばR12頃工事実施予定。

ハ 本市では独自の目視調査や騒音測定は実施しているのか。

答 騒音測定は市役所屋上で実施。騒音が大きくなったエリアで新たに独自の騒音測定を実施し、新富町のようにデータ化し交渉等で活用することについて、見解は。

答 経費と時間を要することから厳しい。防衛省に騒音測定箇所の増加を要望している。

問② 財源対策について

イ ふるさと納税の位置づけは。

答 有効な手段の一つと位置づけ。

ロ 当初予算に対するふるさと振興基金繰入金の推移は。

答 2025年度224億9,874万5千円に対し、9億8,615万6千円。2026年度228億7,175万7千円に対し20億1,812万3千円。

ハ 2025年度の寄附額の結果

と、目標40億に対し未達の要因は。

答 速報値約36億9千万で前年比約1億9千万円の減少。基準厳格化や競争の激化が要因。

二 目標達成へ市長の決意は。

答 私が先頭に立ち一層の獲得に向け取り組んでいく。

問③ 妊産婦への支援について出生数とその評価について。

答 本市はR5以降120人台で極めて深刻。出生数維持と子育て環境全体の底上げを図る必要がある。

ロ 過去質問で「通院費の助成を検討する」と回答、進捗は。

答 妊婦検診無料化により見送り。

ハ 過去質問で「助産師ケアの無償化を検討する」と回答、進捗は。

答 財源確保を優先し見送り。

二 ケア事業者への委託料の状況と委託料のありかたについては。

答 低価格で提供いただいている。適正な委託料水準維持に努める。

ホ 里帰り出産家庭への支援は。

答 具体的支援は無い。他自治体の支援事例の情報収集に努める。

ヘ 無痛分娩助成への見解は。

答 全国的に導入自治体が増えてきているが、効果の見極めが必要。

歳入強化・企業誘致・今後の教育政策について

みなと会 村岡 雄史



動画はこちらから↓



問① 歳入強化について

イ 歳入金額の現状について伺う。

答 市税約33億5千万円、寄附金約付税約47億8千万円、寄附金約30億円を見込んでいる。人口減少などから市税収入は長期的に予算を許さない状況。

ロ 地方交付税やふるさと納税に代わる新たな財源の考えはあるか。

答 ふるさと納税や普通財産の売却による財源確保を行ってきたが、今後はネーミングライツなど新たな財源確保策の検討を進める。

ハ 財源確保を専門的に担う部署を設置する考えはあるか。

答 専門部署設置は有効と考えるが、まずは、庁内横断的な取り組みから進める。

問② 誘致企業の推進について

イ 現状の推進計画について伺う。

答 立地企業数34社、雇用者数1,675名が西都市内で就労。雇用創出や地域経済への波及効果があると認識する。一方で用地確保などの問

題から大規模な企業誘致は課題がある。

ロ AIや農業テックなど成長が期待できる新しい分野を積極的に誘致する考えはあるか。

答 AIや農業テックなどの分野は、成長が期待される産業なので関係機関と情報共有を行い収集に努めていく。

ハ 具体的な行動計画を決めて進捗を管理していくべきと考えるか。

答 毎年、課や個人の業績目標を設定している。意見を参考に進捗管理を進めていく。

問③ 今後の教育政策について

イ 西都市独自の教育を伺う。

答 さいと学をベースとした主体的で対話的な学びを行っている。

ロ プログラミング教育について伺う。

答 2名のICT支援員を配置し、小学校では算数・理科や総合的な学習の時間に、中学校では技術科の授業においてプログラミング教育を実施。

ハ AI教育について現状を伺う。

答 生徒がAIを正しく積極的に活用できるように、教育委員会は教職員向けに作成したチェックリストに基づく適切な指導を継続的に行っている。

中東情勢と物価高騰対策・医療センター再建と新病院建設への展望

日本共産党 狩野 保夫



動画はこちらから↓



問① 有権者の約半数が投票されなかった市議選挙に対する見解は。

答 投票率が20年間で20%も低下していることは大きな課題だと考える。「一票を投じ市政に参加したい」と実感できる誠実で透明性の高い市政運営に努めたい。

問② アメリカによるイラン攻撃によってもたらされた緊迫化した中東情勢は、原油価格の高騰、ガソリン・軽油価格の上昇、油由来製品を中心とした資材の値上がりや供給不足、納期の遅れによって市民生活と地域経済に深刻な影響を及ぼしている。認識と対策は。

答 燃料価格の上昇は商品の価格上昇につながり、市民生活や事業活動に影響が生じていると認識している。中東情勢に特化したアンケート調査は実施していないが、市民生活や事業活動への影響把握に努め、国や県の動向を注視しながら各分野において必要な対策に取り組む。

問③ 宮崎大学医学部からの理事

長と常勤医師派遣は、医療センター再建と新病院建設への希望を与えていただいたものと考えている。ご尽力いただいた皆様へ感謝の意を込めた見解と期待を伺いたい。

答 宮崎大学医学部から医療センターへ理事長及び常勤医師2名の派遣をいただき持続的な医師確保に向けた体制の構築を進めることができたところである。今回の派遣決定をいただいた宮崎大学の学長をはじめ関係者の皆様の地域医療に対する深いご見識と、温かいご支援に、心より敬意と御礼を申し上げます。加えて、医療センターの元理事長という立場で、本市の地域医療発展に多大なる貢献をされた濱砂重仁先生より、今回の派遣に際し多大なるご厚情を賜ったこと、また、西都市西児湯医師会にもご理解とご支援を頂いたことに、重ねて深く感謝申し上げます。今後も引き続き宮崎大学と連携を図り、持続的な医師確保に向けた体制を構築することで、医療センターの経営基盤の安定化が図られることを期待するとともに、西都市西児湯医師会との協力体制を構築することで、地域医療の提供体制を確かなものとするよう全力で取り組む。

資源ごみの活用状況、ペットボトル回収、竹資源の活用について

みなと会 飯牟禮 真知子



動画はこちらから↓



問① 資源ごみは市民の皆様の分別協力によって資源として再利用され、市の財政負担軽減にもつながっている。しかし、その成果や効果は十分に周知されているとは言えない。また、適正な分別が行われない場合には、選別作業に多くの人手や経費を要する。資源ごみの活用状況と、市民への周知について伺う。

答 資源ごみの一部は有価物として売却し、令和7年度は約1,665万円を廃棄物処理費用の一部に充てられている。今後も環境フェスタや出前講座に加え、市ホームページやお知らせなども活用し、資源化の成果や分別の重要性について分かりやすく周知していく。

問② ペットボトルは現在月一回の回収であり、「出し忘れ」と翌月まで待たなければならぬ」との声が多く寄せられている。資源として有効活用を進めるためにも、市民が分別しやすい回収体制を整える必要があると考え

るが、収集頻度の見直しについて伺う。

答 収集委託業者と協議を進めており、市民の利便性向上の観点から、収集頻度を増やす方向で前向きに検討していく。

問③ 放置竹林は景観や防災面だけでなく、生活環境にも影響を及ぼす課題となっている。一方で、竹を資源として活用する取組や支援制度については、市民への周知が十分とは言えない。今後どのように周知を進めるのか伺う。

答 竹資源の活用や支援制度については、市ホームページやお知らせ、公式LINEなど様々な媒体を活用し、大和フロンティア株式会社による竹の受入れや制度内容も含め、分かりやすい情報発信に努める。

問④ 竹の資源化には搬出条件があるが、条件を満たさない竹林も多く、高齢化などにより管理が困難な状況も見受けられる。条件に合わない竹林への支援について伺う。

答 国の里山林活性化による多面的機能発揮対策事業なども活用しながら、地域の実情に応じた支援制度の周知を行い、適切な管理につなげていく。

子育て支援の充実、西都中学校開校後の教育環境について

公明党 浦田 明子



動画はこちらから↓



問① 現在実施されている5歳児相談の対象者数及び参加状況、5歳児相談と5歳児健診の違いを伺う。

答 本市における5歳児相談は、5歳となる市内全ての児童189人を対象とし、18人が利用されている。また、年間では約30人程度が相談を利用している状況であり、5歳児相談と5歳児健診の違いは、5歳児相談は、家庭や保育施設等での対応方法、専門機関の紹介を目的とし、公認心理師や言語聴覚士による個別相談・支援であり、5歳児健診は、母子保健法第13条に基づき、子どもの特性を早期に見出し、支援を行うことを目的とし、市町村が必要に応じて実施する身体的・発達の・心理的な総合的健康診断とする。

問② 就学前に子どもの発達や特性を把握し、支援につなげることの重要性を伺う。

答 就学前に子どもの発達や特性を把握し、支援につなげることは、子どもが小学校生活に適應するための基盤を作ることは極めて重要であ

る。早期に子どもの特性や課題を把握することで、個に応じた支援方法を工夫することができ、子どもの自信や学習意欲の向上につながるものと考えている。

問③ 本市では5歳児相談は実施されていますが、5歳児健診は実施されていない理由を伺う。

答 実施にあたっては「医師の確保」および「保健師及び専門職のマンパワー不足」により、現時点では実施に至っていない状況である。

問④ 子どもたちが安心して小学校生活をスタートするために、保護者にとっても早い段階で相談や支援につながることは大きな安心につながる。本市においても5歳児健診の実施について前向きに検討する考えはないか市長の見解を伺う。

答 支援の充実という観点から、前向きに検討する必要があると考えている。

問⑤ 再編により環境が大きく変化した生徒もいると思う。不登校傾向のある生徒に対し、どのような配慮や支援を行っているのか伺う。

答 不登校傾向にある生徒と対話し、抱えている不安や悩みに寄り添い、家庭訪問を行い、生徒や保護者と面談を行う。

■第4回定例会で審議された議案の審議結果

【市長提出議案】

番号	議案名	審議結果	
第57号	教育委員会委員の任命について	同意	全会一致
第58号	農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
第59号	農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
第60号	農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
第61号	農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
第62号	農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
第63号	農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
第64号	農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
第65号	農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
第66号	農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
第67号	農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
第68号	農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
第69号	農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
第70号	農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
第71号	農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
第72号	農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
第73号	農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
第74号	西都市特定用途制限地域における建築物等の制限に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第75号	西都市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第76号	令和8年度西都市一般会計予算補正(第2号)について	原案可決	全会一致
第77号	令和8年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第1号)について	原案可決	賛成多数
第78号	令和8年度西都市介護保険事業特別会計予算補正(第1号)について	原案可決	全会一致
第79号	令和7年度西都市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	全会一致
第80号	令和7年度西都市簡易水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	全会一致
第81号	令和7年度西都市公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	全会一致
第82号	令和7年度西都市農業集落排水事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	全会一致
第83号	教育長の任命について	同意	全会一致

賛否の分かれた議案等の表決一覧

		議員名（左から議席番号順）															審議結果
番号	件名	橋口登志郎	幸森寛之	村岡雄史	濱砂紳一郎	黒木和利	飯牟禮真知子	緒方吉成	森祐子	吉岐秀光	濱砂磐	村上修乗	荒川敏満	井上久昭	狩野保夫	浦田明子	
第77号	令和8年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正（第1号）について	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

※議長のため表決に参加しない

6月定例会
各委員会審査報告



総務委員会審査概要

◎付託案件審査件数 1件

◎審査結果

全会一致をもって原案可決。

◎審査過程で出た意見・要望等

一般会計歳入の大幅な伸びは期待しにくく、公共施設等の維持管理・更新費は増加する状況においても、行政は市民生活の向上を目指さなければならない。財政運営においては、ふるさと納税やコミュニティ助成事業及び国・県による補助事業などについて常に情報収集を行い、市民への周知や円滑な事業の利活用を図り、市費負担の低減に努めていきたい。

文教厚生委員会審査概要

◎付託案件審査件数 3件

◎審査結果

全ての議案について、全会一致をもって原案可決。

◎審査過程で出た意見・要望等

給食センターは築40年以上が経過していることから、大規模改修や建替えについて計画的な検討を要望したい。母子生活支援施設への入所支援の必要性を確認するとともに、施設との連携を密にしなが、入所後に、安心・安全な生活と、自立につながるよう継続的な支援の把握に努めていきたい。

子どもの学習支援や心のケアなど、母子双方への支援の充実を図るとともにDVや生活困窮などの悩みを抱える方にとっても必要な支援につながるよう、相談窓口の周知と相談体制の充実に努めていきたい。

生活保護費の追加給付については、過去に生活保護を受給されていた方や、自治体で受給歴のある方が、申請漏れや制度を知らないことにより不利益を受けることがないよう、制度の十分な周知と、丁寧な案内に努め、確実に給付が行き届くような取組を要望したい。

西都市医療機関開設等支援事業補助金交付要綱において、本市における医療提供体制の確保・充実を図るために当補助金を増額する見直しが行われたことは、積極的な意義を持つものである。今後は、全ての医療機関を対象にした支援についても要望したい。高い国保税は、市民の暮らしに大きく影響をしているので、基金等を使い、負担軽減対策を積極的に図っていただきたい。

産業建設委員会審査概要

◎付託案件審査件数 7件

◎審査結果

全ての議案について、全会一致をもって原案可決。

◎審査の過程で出た意見・要望等

今回の補正予算において、土木費国庫補助金が大幅減額となったことを理由に、都市環境整備事業の一部が次年度以降に実施することとなった。国への予算要求を確実に行っていただくとともに、あわせて代替となる財源の確保についても堅実に行っていただき、事業が計画的かつ安定的に実施できるよう取り組んでいただきたい。

農林水産業費に新たに畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業補助金と、畜産生産ランクアップ緊急支援事業補助金が計上されている。

物価高騰等で生産者を取り巻く状況はたいへん厳しいものがあるため、水稻農家や施設園芸農家などのほかの耕種農家の補助についても、今後幅広く事業を考えていただくようお願いしたい。

陳情審査結果

日本政府に核兵器禁止条例の参加署名・批准を求める意見書提出について

継続審査

国道219号整備促進

(産業建設委員会)

産業建設委員会では、西都市、西米良村、湯前町(熊本県)で構成する三市町村議会国道整備促進合同協議会の活動を行っています。

5月18日には、協議会として、国道219号の湯前町の上里工区、西米良村の二之渡工区と越野尾工区そして、西都市の古仏所工区の現地調査を実施しました。

本調査には、宮崎県西都土木事務所や熊本県球磨地域振興局の関係者などに参加いただき説明を受けました。

7月7日には、宮崎県知事、宮崎

県県土整備部、宮崎県議会及び熊本県土木部に対して要望活動を行いました。

内容としては、国道219号は熊本市から宮崎市を結ぶ生活道路としてはもとより、緊急医療や経済活動を支える重要な路線であります。西都市、西米良村区間においては未整備箇所が未だ多く残されている状況ですので、早期の整備の促進や予算確保をしていただけるよう要望しました。

また、8月には、九州地方整備局や国土交通省へ要望活動を行うべく予定です。

これからも要望活動等を展開し、早期整備の実現に向けて取り組んで参ります。



(現地調査時の様子)

全国市議会議長会永年勤続表彰

このほど、荒川敏満議員が20年の永年勤続の功労により、全国市議会議長会から表彰されました。



荒川 敏満 議員
平成18年初当選
(現在6期目)

議長、副議長、監査委員、議会運営委員長、文教厚生委員長、新田原基地対策調査特別委員長などを歴任。



表彰状伝達式の様子
(市長からの祝辞)

編集後記

連日、厳しい暑さが続いておりすが、市民の皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

今回の議会だよりでは、先だって開催されました定例会での各議員の一般質問や、一般会計予算補正、特別会計予算補正など皆さまの暮らしに直結する審議結果をお伝えしております。

西都市の未来をより良くするため、議会も一丸となって議論を重ね、分かりやすい情報発信に努めてまいります。まだまだ夏本番の暑さが続きます。熱中症にはくれぐれもお気をつけいただき、この夏を元気に乗り切りください。

(緒方 吉成)

議会報編集委員会

- 委員長 濱砂 磐
- 副委員長 村岡 雄史
- 委員 幸森 寛之
- 飯牟禮 真知子
- 緒方 吉成
- 荒川 敏満